

平安杯 第 69 回 全九州バレーボール総合選手権大会（高校の部）県予選会
兼 第 78 回 国民スポーツ大会選手選考会
抽選会および代表者会議資料

日時：令和 6 年 4 月 12 日（金）14：00
場所：北中城村立中央公民館 ホール

1. 競技日程および会場

令和 6 年 4 月 20 日（土） 男女 1～3 回戦

那覇市民体育館 A・B・C・D・E 豊見城市民体育館 F・G・H・I・J

那覇工業高校 K・L 浦添高校 M・N 浦添商業高校 O・P

令和 6 年 4 月 21 日（日） 男女準々決勝戦および決勝リーグ第 1 戦

那覇市民体育館 A・B・C・D

令和 6 年 4 月 22 日（月） 男女決勝リーグ第 2・3 戦

那覇市民体育館 A・B・C・D

※ 決勝リーグ第 2 戦は、4 コートで同時に行い、第 3 戦は B・C コートで行う。

<最終日のコート、組み合わせおよび試合順について>

決勝リーグ第 2 戦は、4 コート同時に行い、その組み合わせは、「第 1 戦の勝ちチーム」と「未対戦の第 1 戦の負けチーム」とし、上位シードを有するチームの試合を B・C コートで行う。ただし、シードが同順位、または、どちらもシード権を持っていない場合には、組み合わせ表の左に記載されているチームの試合を B・C コートで行う。

決勝リーグ第 3 戦は、B・C コートで行い、第 1 戦の負けチーム同士の試合を先に、第 1 戦の勝ちチーム同士の試合を後に行う。

2. 開館および試合開始時刻

3 日間とも開館時刻 09：00、試合開始時刻 09：30 とする。ただし、大会 1 日目の那覇市民体育館および豊見城市民体育館については、コート設営のため、第 1 試合のチームのみ入館時刻を 08：30 とする。また、2・3 日目の開館時刻については、当該チームに了承を得た上で早めることもある。

3. 参加チーム一覧

【男子】 辺土名 名商工 名護 石川 前原 具志川 読谷 嘉手納 美来工科 コザ
美工 球陽 北谷 普天間 宜野湾 西原 浦商 浦工 陽明 昭薬附 浦添
那工 那国際 興南 首里東 首里 沖工 沖尚 那覇 小禄 那覇西 南風原
知念 豊見城 豊南 南農 向陽 糸満 宮古 宮総実 八商工 八重山

男子 42 (38) チーム

【女子】 本部 名商工 名護 宜野座 石川 具商 前原 具志川 与勝 読谷 嘉手納
美里 コザ 球陽 北中城 普天間 中商 宜野湾 西原 浦商 昭薬附 浦添
那国際 興南 首里東 首里 沖工 沖尚 那商 那覇 小禄 那覇西 南風原
知念 豊見城 豊南 向陽 糸満 宮古 宮総実 八重山 女子 41 (40) チーム

計 83 (78) チーム

() 内は昨年度の数

4. シードチーム

【男子】 第 1～4 シード：美工 西原 首里 コザ
ベスト 8 シード：小禄 宮古 名護 八商工
会場運営シード：浦添 浦商 那工 (8 分の 1 ゾーン)

【女子】 第 1～4 シード：首里 西原 知念 小禄
ベスト 8 シード：普天間 那覇 前原 中商
会場運営シード：浦添 浦商 (8 分の 1 ゾーン)

5. 抽選手順

- ① 第1～4シードを入れる
- ② ベスト8シード：予備抽選 ⇒ 位置抽選
- ③ 離島チーム：予備抽選 ⇒ 位置抽選（初戦での離島チーム同士の対戦を避けるため）
- ④ 会場運営シード：予備抽選 ⇒ ゾーン抽選＋位置抽選
- ⑤ 南のチームから：予備抽選 ⇒ 位置抽選

6. その他

(1) ユニフォーム規定等について

(2) 2024年度競技日程等について

県総体	(那覇地区)	6/ 1 (土) ～ 4 (火)
定通夏季	(宜野湾高校)	6/ 8 (土)
県1年生	(南部地区)	8/12 (月)・14 (水)
春高予選	(中部地区)	10/26 (土) ～ 28 (月)・11/4 (月)
定通秋季	(宜野湾高校)	11/ 2 (土)
県新人	(八重山地区)	12/14 (土) ～ 17 (火)
KBC 学園杯	(中部地区)	1/25 (土) ～ 1/27 (月)

(3) 春の詩について

競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 本大会は、2024年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則および競技要項により実施する。
2. 試合は全て3セットマッチとする。準々決勝戦までトーナメント方式で行った後、上位4チームによる総当たりの決勝リーグ戦を行う。
3. 大会1日目の那覇市民体育館および豊見城市民体育館のコート設営は、第1試合のチームが08:30に入館して行う。
4. 監督またはコーチは、試合当日08:30*より各会場にて行われる代表者ミーティングに必ず参加すること。ただし、第4試合以降のチームについては、その限りではない。
* 大会1日目の那覇市民体育館および豊見城市民体育館の代表者ミーティング開始時刻は、コート設営完了の目処が立ち次第、競技副委員長より館内放送にて連絡する。
5. 開館および試合開始時刻は、「抽選会および代表者会議資料」に記載してある通りとする。全試合60分設定(試合開始時刻はホイッスル時間)で進行し、それより早く開始することはない。試合の当該チームは、前試合の両チームのコートアウト後* (試合が連続する場合は、コートアウト完了の15分後)、審判員の指示に従ってコートインし、10分間(2日目の第2試合は20分間)の合同練習後、プロトコールに入る。前試合が早く終了した場合のコートイン時刻は、試合開始時刻の25分前とする。
* 大会2日目の第2試合の両チームは、第1試合の補助員が終了したら、速やかに試合の準備をすること。
6. 大会使用球は、(公財)日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。
男子：ミカサ(V300W) 女子：モルテン(V5M5000)

7. チームの構成は監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とし、選手が13名以上の場合は、リベロプレーヤーを必ず2名含むこと。尚、監督・コーチ・マネージャーの各章は、規定のものを各チームで用意し、明確に判別できる位置に付けること。また、監督・コーチが外部指導者の場合は、登録証も身につけておくこと。
8. 選手のエントリー（18名以内）およびベンチスタッフの変更は、参加申込書原本の提出により行い、当該チームの初戦開始30分前までに、引率責任者が本部席に提出すること。提出後の変更は一切認めない。
9. チームは、各試合の「コンポジションシート」を、第1試合については、試合開始時刻の30分前までに、第2試合以降については、前試合の第1セット終了までに、エントリー委員に提出すること。ただし、試合が連続する場合は、前試合終了後に速やかに提出すること。また、各試合終了時に、ファーストレフェリーまたはセカンドレフェリーより受け取り、試合毎に提出すること。
10. 「ラインアップシート」は、公式ウォームアップ時にセカンドレフェリーまたはスコアラーに提出すること。
11. 引率責任者は、監督・コーチが共に外部指導者で、マネージャーが生徒の場合、プロトコール時に、主審による所在確認を受けること。
12. 第1試合のチームのコート練習についても、他の試合と同様に、コートイン後の10分間の合同練習のみとする。
13. 隣のコートで試合が行われている場合の練習はパス程度とする。
14. 公式ウォームアップ終了15分後になってもコートに来ないチームは失格とする。
15. 補助員（記録・点示・ラインジャッジ）は8名とし、前試合の負けチームで行う。ただし、大会1日目の第1試合については、当該コートの第3試合（トーナメント表の試合番号が○で囲まれている試合）のチームで行い、大会2日目の第1試合については、当該コートの第2試合のチームで行う。また、大会3日目については補助役員を配置する。
16. ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）・ショーツ・ソックスを指す。ジャージ（シャツ）・ショーツは色およびデザインが、ソックスは色および長さが統一されていることとする。また、ジャージ（シャツ）は必ずショーツに入れなければならない。
17. 太鼓等*の応援は、試合進行の妨げにならない限り認める。
* 拡声器の使用は、試合への影響を考慮し、高校会場においては認めない。また、使用する際は、コートへ向けての使用は禁止とし、応援席側へ向けて使用すること。

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 本大会は、2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。

2. チームは監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。選手は、18名まで申し込むことができ、試合毎に14名をエントリーすることができる。但し、13名以上をエントリーする場合のリベロは2名でなければならない。
3. リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
4. リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。2人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。
5. 試合開始前、監督は選手の名前、番号をスコアシートのチーム選手欄に記入するか、記入されたものを確認した後、サインする。(チームキャプテンの番号を丸で囲み、リベロの番号を記入しサインをする。)また、チームキャプテンはチームを代表してトスを行い、トスの開始前と試合終了後にサインをする。
6. 各セットの開始前、監督は、正しく記入されたラインアップシートにサインし、セカンドレフェリーまたはスコアラーに提出する。ラインアップシートが提出されたら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することはできない。
7. セット開始前に行うラインアップシートとスターティングプレイヤーの照合の際は、リベロを確認する必要はない。(リベロはベンチで待機)
8. コート上で円陣を組んで掛け声をかけるケースについては、ラインアップシート確認後は最大限スターティングメンバーの6名とリベロ2名の計8名までとする。
9. タイムアウトを要求できるのは、監督のみである。その際、ラリー終了後に公式ハンドシグナルで明確に示すこと。
10. チームメンバーによる不法な行為(相手に向かって”ガッツポーズ”などで挑発・威嚇する行為など)に対しては、競技規則第21条「不法な行為とその罰則」に則って罰則を適用する。
11. 判定に対する質問は、ゲームキャプテンのみであるので、監督や他の競技者からの質問は受けつけない。(判定へのアピール等は警告の対象となります。)
12. 試合の前後は、選手全員がエンドラインに整列し、主審の合図で挨拶(握手)する。なお、試合終了後に監督とキャプテンは、審判員にも挨拶(握手)する。
13. 競技中のコートワイピングについては、プレイヤー自身がコートを拭くことを原則とする。(ワイピング用タオルは、チームで余分に準備し、スターティングプレイヤー全員が持つことが望ましい。)
14. 競技中の服装について
アンダーウェア等について(競技要項 p.69 抜粋)
 - (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
 - (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険である場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
 - (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

総務からの連絡事項

大会総務委員長

1. 参加者全員、服装を正し高校生としてふさわしい身なりと態度を心がけてください。
2. 各会場とも、体育館以外の施設へは立入禁止です。
3. 置き引き・盗難に注意して、貴重品はチームで責任をもって管理してください。
4. 各会場とも、ごみは各チーム責任を持って持ち帰りをお願いします。
5. 更衣室・ロッカーの占有は禁止です。チームの荷物を置きっぱなしにしないでください。
6. 体育館は土足厳禁となっています。外履き内履きの区別をしっかりとしてください。また、玄関の靴を脱ぎ履きするスペースは、靴を置く場所ではありません。他の人の出入りに迷惑が掛からないよう、玄関に靴を置きっぱなしにせず、チーム関係者は各自で靴袋を準備し、靴の管理をお願いします。
7. 高校生の運転する車両での来場は禁止です。
8. 毎回忘れ物が多数出ます、気をつけて下さい。
9. 未登録の選手及び登録料未納の選手がいる場合、大会当日までに登録・支払いを済ませて、JVA チーム加入選手一覧表の差し替えをお願いします。

※ 以上、チーム関係者への周知徹底をお願いします。

※ 沖縄県バレーボール協会 Web サイト(<https://oki-va.com/>)に、大会に関する情報を随時掲載しておりますのでご活用下さい。

高体連主催大会におけるユニフォーム規定について

(公財)全国高体連バレーボール専門部
競技委員会

1. ユニフォーム
 - (1) ユニフォーム
 - ① ユニフォームとは、ゲームシャツ、ゲームパンツ、ソックスを指す。
 - ② ユニフォームは、配色やデザインが統一されていなければならない。(リベロプレーヤーを除く)
 - ③ チームは、カラーの異なった2種類のユニフォーム(ゲームシャツ・ゲームパンツ)を用意することが望ましい。
 - ④ リベロプレーヤーは、チームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色の(左右対称とか上下対称ということではなく、はっきりと区別できるデザインである)ユニフォーム(少なくともゲームシャツだけは)を着用しなければならない。リベロが2名の場合、リベロはチームの他の競技者と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。

(2) ゲームシャツ・ゲームパンツ

- ① ゲームシャツおよびゲームパンツは、色・デザインが統一されていること。
- ② ゲームシャツは半袖、長袖、ノースリーブが混在していてもよい。
- ③ ゲームシャツの裾については、ゲームパンツに入る形状のみとする。

(3) ソックス

- ① 色および長さが統一していること。

(4) トレーニングウェアの着用

- ① 気温が規定を下回る場合には、主審の許可を得て、全員が統一したデザインで競技者番号のついているものに限り着用することが出来る。

2. 競技者番号

- (1) ユニフォーム（ゲームシャツ）には、競技者番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていなければならない。
- (2) 競技者番号は 1～20 番までとする。ただし、やむを得ない場合は 1～99 番まで認める。
- (3) 競技者番号のサイズは、次の通りとする。

	高さ	字幅
① シャツ胸部・中央	15cm 以上	2cm 以上
② シャツ背部・中央	20cm 以上	2cm 以上

- (4) ゲームパンツ前面右下に、高さ 4～6cm、字幅 1cm 以上の競技者番号を付けてもよいが、全員がそろっていないといけない。

3. チームキャプテン

- (1) チームキャプテンは、胸のナンバーの下に長さ 8cm、幅 2cm のマークをゲームシャツと異なった色で付けていなければならない。

4. チームネーム

- (1) ゲームシャツの胸部もしくは背部に学校名または学校略称を付けなければならない。
 - ① 学校略称は正式な校名が明確にわかるものとする。
 - ② 校章や学校公式ロゴを付けてもよい。ただし、学校で規定されていないチーム独自のマークなどについてはこれを認めない。
- (2) ゲームシャツに所属する都道府県名を付けてもよい。ただし、文字のサイズは学校名または校名略称よりも小さくすることとする。
- (3) ゲームパンツに校名を入れる場合には(1)の規定に準じる。

5. マニュファクチャーロゴ

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会（以下 JVA）主催大会においては JVA のユニフォーム規定に従うこととする。

6. その他の表示

- (1) ユニフォームには上記 2～5 以外の表示はつけてはならない。

7. トレーニングウェア

- (1) トレーニングウェアは全員が統一されていることが望ましい。
- (2) トレーニングウェアには学校名、選手番号を付けることができる。

8. アンダーウェア等について

- (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。

- (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険ある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- (3) 腰に帯状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

9. チーム役員の服装

- (1) 全国高体連が主催する大会におけるチーム役員の服装については以下の通り規定する。ブロック大会ならびに都道府県大会における本規定の適用範囲については主催者の判断とする。
- (2) チーム役員は、ジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
- (3) 監督がジャケットを着用し、その他のチーム役員が統一された服装であれば許可される。
- (4) 統一された服装であっても、Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツは許可されない。

令和5年1月制定

大会参加時の監督やコーチなどのスタッフのウェアについて

(公財)全国高体連バレーボール専門部
部長 田野 敏彦

全国高体連から発出されている「競技者に関する別途規定」の項目に「プロ扱い競技者」についての規定として「全国高等学校総合体育大会等本連盟主催の大会参加に関して、宣伝広告を行ったり金品の授受があってはならない。」との項目があります。

「プロ扱い競技者」とは「競技に関係して金品の授受がある」競技者を指しておりますが、全国高体連ではこのような「プロ扱い競技者」においても宣伝広告などを禁止している点を鑑み、バレーボール専門部常任委員会では全国、ブロック、都道府県高体連が関わる(主催・共催・後援・主管等)大会においてスタッフについても競技者規定に準じるものと判断し、スタッフのウェアについても宣伝広告をつけることを禁止することといたします。

大会参加時に監督やコーチなどのスタッフが着用するウェアにつけることができる表示としては選手のユニフォームに準ずることとします。

なお、この規定は基本的に「プロトコールに入ってから試合終了時点まで」とし、その時点で試合に関与するスタッフにも適用するため、インターハイ等における補員やモッパーにも適用いたします。

但し、大会によっては春高バレーのように主催者の判断により会場敷地内での着用を禁止することもあります。

本年度開催の各大会における個人情報保護方針

沖縄県バレーボール協会
会長 大兼 康弘

沖縄県バレーボール協会は、個人情報の保護を期するため、以下の方針で各大会の運営に努めます。

1. 個人情報の取得と利用

大会の参加申込用紙などについては、利用目的を明らかにするなど、個人情報の取得には適

正な手続きをとり、参加資格の確認や大会運営業務など、目的以外には使用しません。

2. 個人情報の管理

大会参加申込書など、個人情報を適切に管理するとともに、紛失、改ざん及び漏洩などの防止に努めます。

3. 第三者への個人情報提供の制限

マスコミ等を除き、事前に本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供及び開示しません。

4. 個人情報の開示、訂正、削除など

本人が、当該者と識別される個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止などを求める権利を保有していることを確認するとともに、これらの要求を受けた場合は速やかに対応します。なお、以下の理由により、写真工房にしはら西原けんじ氏による写真撮影及び作品の場内掲示を行っています。利用停止などの権利を履行の申し出があった場合は、速やかに対応します。

- (1) これまで数年にわたり、撮影及び作品の場内掲示を認めてきたが、利用停止などの申し出がなかった。
- (2) 作品を本人に提供していただき、大会の盛り上げの一助となっている。
- (3) 後日、本協会へ作品を提供いただくことにより貴重な大会記録の作成が可能となっている。

Dear Volleyball Friends



公益財団法人日本バレーボール協会（JVA）は、我が国のバレーボール界を代表する組織団体として、バレーボール競技を通して社会に貢献するために豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発展をその目的とし、全ての JVA 加盟団体、全ての JVA 登録メンバーと一体となって未来を担う少年、少女を守り、言葉や腕力などによる暴力行為、体罰、しごきを絶対に許すことなく、見過すことなく、彼らの良好なトレーニング環境を維持し、彼らの明るい明日を築き上げるために全力を注ぐことをここに宣言いたします。

公益財団法人日本バレーボール協会